ッコスポーツ大



広報 いまかね

'76年

元気いっぱいのチビっ子たち

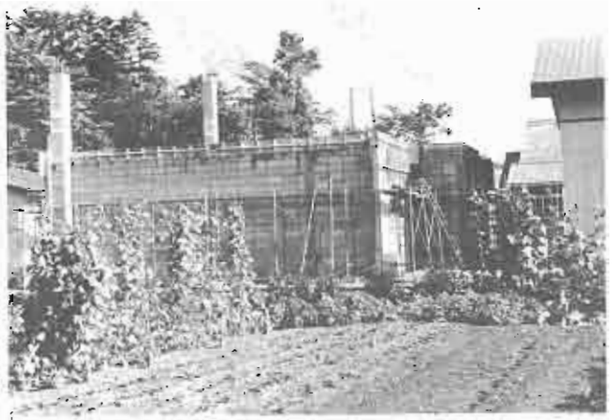
みんなで思いっきりスポーツを楽しもうーと、8月8日町教委主催の第1回チビっ子スポーツ大会が総合体育館で開かれました。

約70人の小学生が参加、ドッジボールから卓球、相撲、ピンポン玉投げ、重量挙げの全種目にみんなが挑戦。なかでも、相撲は大人なみにまわしをつけてハッケヨイと、元気いっぱいの一日でした。

8月号
No.218

経済基盤を整備し健康で文化的な生活環境の確立を図ろうと昨年から第二期山村振興地域の特別対策事業について、その実施計画書を策定しておりましたが、このほどその計画が承認され、いよいよ本年度から事業が実施されます。

小規模生産基盤の整備など
特別対策事業がスタート
第2期山村振興



住吉小学校の横に建設されている住吉生活改善センター

山村振興法とは、経済的、文化的に立ちおくれている地域の必要な事業に対し、国が助成して各種の施策を優先的に行ない、地域格差をなくしようとするものです。

本町は昭和四十四年に山村振興対象地域として指定され、昭和四十九年に第一次の事業が終わり、所期の目的を達成しましたが、なお各地の産業基盤、生活環境の立ちおくれは著しく、積極的な施策が望まれていました。

四年計画で事業を実施

昨年指定された第二期山村地域農林漁業特別対策事業は、前述のような後進的な地位にある山村地域を総合的な施策のもとに一環して行われるもので、昭和五十一年度を初年度とし、五十四年度までの四カ年間で、総事業費二億五千万円が投入されます。

全体計画によりますと、小規模ほ場整備三カ所（下メップ、神丘西部、下豊田）、小規模土地改良事業（嗜きょ排水、客土）五カ所（上種川、南利別、神丘共和、上（上種川、錦金、畑の沢）、小規模草地造成事業二カ所（富島、白石）、小規模農地造成事業三カ所（上豊田、錦金、畑の沢）、小規模草地造成事業二カ所（富島、青木一）などの生産基盤整備事業に一億百四十万円。畑作経営近代化施設の整備として種馬鈴薯貯蔵所の建設一カ所に四千六百十万円、林業経営近代化施設では、樹苗生産施設が七百二十万円、それに、環境整備では、簡易給水施設二カ所（住吉、住中）、生活改善センターの建設二カ所（住吉、八東）などで七千六十七万七千円の事業費で実施されます。

生活改善センターの建設なども

このうち、第一年次として本年実施されるものは、上種川、神丘共和地区の嗜きょ排水事業一五ヵ所、錦金、畑の沢地区の農地造成事業六、七ヵ所が整備されます。



第二次農業構造改善事業も着手

経営規模の拡大による自立経営の育成を目標とする第二次農業構造改善事業は、第二期山村振興事業と並行して昨年度指定され、本年度から四カ年、五十四年度までに事業が推進されます。

昭和五十一年度の第一次事業としては、現在建設中の「馬鈴薯貯蔵庫」（写真）が受入機械設備を含め二億四千二百九十万円の事業費、鉄骨コンクリート造り一部二階建、延べ面積三千百三十六・三平方㍍と町総合体育館なみの巨大な施設は貯蔵能力年間三回転で七千二百トンを見込んでいるという。今後における畑作振興に大きな発展が期待されています。

また、地域農業の生産性を高める土地基盤整備として種川地区の受益農家十三戸を対象に山林、原野二三・九㌶を畑地造成する農地造成改良事業が千百四十七万円で行われ、最終年度には各種農機具の共同利用も進められる計画です。

また、同地区は長年水質の悪い沢水を利用しているため、住吉頭首工下流に浅井戸を掘さくして簡易給水施設を整備します。これにより五戸の農家が水の不便から解消され衛生的にも安心できるようになります。

☒感謝します☒

◎愛情銀行（預託・払出し）

▽黒坂イマさん（花石）から扶助

▽匿名さん（高美町）から二万円を光の里学園に

▽今金町婦人団体連絡協議会（代表石井照子）から文化祭バザーの益金六万九百十円を学園にそれぞれ寄付されました。

勤労青少年の座談会
率直な意見が続出



毎年七月の第三土曜日は「勤労青少年の日」この日を有意義にと、十七日に檜山支庁主催の〝勤労青少年座談会〟が今金町産業会館で開かれました。

座談会には町内の働く青少年たち二十人を招いて、檜山支庁経済部長、商工会長、町長らが助言者になり『魅力ある郷土づくりや余暇の利用など』をテーマに懇談。

魅力ある郷土づくりについては『若者たちの意気を奮起すべく将来の計画を早く打ち出してほしい』『檜山の教育、医療、文化面の立遅れが目だつので積極的な対策を』『世代をになう若者の希望を取り入れる話し合いの場を数回開催してほしい』という声が出ていました。また、農業関係では『農業基盤の整備が先決、生産性を高める政策を』『各農家は機械の導入で資金難になっている。合理的な共同利用の方向を考えるべきだ』『小規模農家の経営拡大は互いにともぐいになり後継者は定着できない』！という声も。

余暇では、『商工業に従事している仲間同志の集会などは夜八時頃でないと集まれないので、町民センターの利用時間もせめて十時頃まで開放してほしい』など、日ごろ感じている悩みや意見を率直に訴えていました。

優良勤労青少年に
上村久子さん



勤労意欲に富み、自立心豊かで他の人の模範となる青少年をたたえ、よりいっそう活躍してもらおうという道優良勤労青少年の顕彰式が七月十九日、檜山支庁で開かれ、本町から上村久子さん（美容師・22歳・写真）が表彰されました。

上村さんは、神丘中学校を卒業後、吉田美容院に就職、四年後に美容師免許を取得して美容技術に励むと同時に明るい職場づくりのほか、同僚と余暇をみつけて光の里学園へ毎月一回、積極的な美容奉仕活動を続けるなど、広く青少年層から敬愛されています。

アンケート調査にご協力を
利別川ほとりの公園計画

河川敷地を公園緑地として町民の憩いの場に利用しようと、函館開発建設部と町では、都市河川環境整備事業として昭和五十二年度以降の河川改修計画にもとづき長期計画で利別川のほとりの公園化を進めます。

利別川の対象区域は、今金橋の両岸と稲穂橋の左岸側です。

計画にあたり、公園を利用するのは町民のみなさんですので、将来的にどんな憩いの場にしたらよいか、どのような施設が必要なのか、みなさんのアイディアやご意見を幅広くお聞きするため、後日アンケート調査を行ないます。

利別川の景観をより美しく緑と憩いの公園にするため家族ぐるみでご意見をお寄せください。



スポーツにレクリエーションに活用される開発グランド

レクリエーションの指導員に橋本良保さん



みなさんは趣味とか娯楽とかをお持ちのことと思います。また、時間があったら何かしてみよう、やってみたいと思うことがあるでしょう。レクリエーションというと何か変った特別のこととか、集会の余興のことのように思われがちですが、決してそうではないのです。昔から私たちの生活の中にもともとあった趣味とか娯楽とかのように、私たちの生活を明るく楽しいものにして、より充実したものにする諸活動のことなのです。そのレクリエーションをどのようにしてやればよいのかを指導してくれる人が、日本レクリエーション協会で認定した指導者です。

この指導者資格には二級、一級、上級と三段階あり、上級になりますと北海道でもまだ三人しかおりません。幸にして私たちの町には、二級資格を持っている指導者として橋本良保さん（花石）がおりますので、もしレクリエーションをやろうかという時には、遠慮なく橋本さんにお願いしてみてください。きっとお役に立つと思います。

みんなの願い〝事故ゼロ〟

市街地町道の全面駐禁問題

町ぐるみの安全励行が頼み



街の交通渋滞をなくし、歩行者の安全を守ろうと、公安委員会は現在、実施している隔月片側駐車禁止地区を全面駐禁に切り替えたい意向を打ち出したことについて、関係商店街の反対陳情により一時延期という結果になりました。今月は、その全面駐禁をめぐる問題点を、もう一度振りかえってみんなで考えてみましょう。

死亡事故ゼロ記録六八九日でストップしたのは、市街地町道旭線で小学一年生が輪禍の犠牲になった昨年の五月三日です。この悲惨な事故を契機として公安委員会から全面駐禁の意向が示されました。

これに対し、今回の実施をめぐる問題点と同じく❶適当な駐車場が少ないこと❷今金町の中心商店街の大半を含む区域であり、商用、買い物客の駐車が禁止されることは本町経済界の死活問題だーという考え方の意見が多く、何回かの会議、相談などを経て公安委員会では「暫定措置」として偶月片側駐禁という措置を昨年の九月より実施して今日に至っています。

現実をよく見つめ みんなで協力しよう

このような情勢で、私たち住民は冷静に現実をよく見つめ、今後の対策を真剣に取り組んでいかなければならない重大な課題であるといえましょう。そこで、みなさんの判断する上で、今までの話し合いから相対的な意見を述べてみましょう。

■全面駐禁を行う理由としては、

(一) 歩行者が安心して歩行でき、自動車などが安全に運転できるようにするのが交通規則の最終目的である。

(二) 道路は自動車を駐車しておくところでなく走行する道である

(三) 駐禁とは、停車が出来ないということではない。

(四) 片側駐禁は一時的な措置で、全禁移行の一段階であり、現在の措置は全道的にも異例である

(五) 事故発生の多い現代は車にとって過酷な規制の時代である。

(六) 車の増加にみあう駐車場の施設は追いつかないものである。

■全面駐禁されては困る理由（片側駐禁を続けてほしい）

(一) 駐禁区域は今金商店街の95%を示める広範囲であり、駐車場不備により車の諸用ができなくなり、市街地以外の車や町外の人に不便をかけ、ひいては町経済の低下を招く重大事である。

(二) 住民の安全運動の努力及び片側駐禁の効果で、現在のところ交通事故は発生してない。（本町の事故発生は多いとされているが、それは国道、道々に発生している。）

(三) 規制される町道各線とも路幅は狭いが反面、この道路は遠距離を通過する利用道路でない。

(四) 駐車場の整備は、公共的、団体的、個人的に努力し、ある程度の収容能力ができるまで全禁は延期してほしい。

以上、両者のおもな理由をあげてみましたが、みなさんはどうお考えでしょうか。

全面駐禁は当面の問題です。しかし、町民みんなの願いは〝交通事故の絶無〟が最大の目標です。

規制は、そのひとつの方法、手段にすぎません。それ以上に町民総ぐるみの交通安全意識の再確認と協力で、事故のない町づくりへと発展したいものです。

〝美利河橋で死亡事故〟

ゼロ記録427日でストップ



昨年の五月三日から交通事故死ゼロを続けてきました本町で、ついに死亡事故が発生！ゼロ記録は四二七日でストップしました。

死亡事故は、七月三日午前十時三〇分頃、長万部町に住む織田さんの運転するトラックが美利河橋の欄干に激突大破し、織田さんはあごやロッ骨を折って重傷、ただちに救急車で函館市立病院に運ばれましたが、同日夕方、病院で死亡しました。

この事故の原因は、スピードを出しすぎて美利河橋の手前右カーブを切りそこねて右側の橋の欄干に衝突したものです。

この悲惨な事故は他人ごとではありません。スピードの出しすぎが死を招き、あすは我が身でないと誰れが言い切れるでしょうか。

その間、今金町全体としては、

▽住民による交通安全運動の推進

▽自主規制によるスピード制限と駐車の自粛運動の展開

▽産業会館前の公共駐車場の設置

▽小学生の市街地自転車乗り入れの規制と自転車運転教育の強化

▽自転車公園施設の誕生

など町民総ぐるみで交通安全対策を進めてきました。

しかし、公安委員会の基本的方針は時代の動向により、現在の片側駐禁はあくまでも暫定であって全面駐禁と速度制限は、職責で実施せざるを得ないことであるが、住民の理解を経てなるべく早い時期に実現したいという方針です。

駐車場の整備を——高島小三郎さん（商工会長）



人命の尊重は申すまでもなく、ますます繁雑する道路状況で交通規制は当然あるべきと思う。しかし、現在では役場前とか町民センターの施設内のほか産業会館前の町有駐車場が国道側に一カ所あるだけで、中通りにはまったくない状態です。どこの都市でも有料駐車場は近くの区域にあり不自由しません。これで全面駐禁になれば本町の経済圏の崩壊につながる。本町には他町からの買い物客は非常に多いことからも駐車場の整備が先決です。中心街には駐車場用地として可能な場所もあるので、商店街と町が一体となって積極的な対策が急務です。また、将来の都市づくりからも主要道路の市街地入口附近には大規模な駐車場の設備も必要となってくるでしょう。

広く町民の声を聞いて



石井照子さん（町婦人会長）

市街地に駐車する車は年々多くなり、夕方の買い物時間にはとても歩行者が安心して買い物できる状態でありません。特に、歩道のない道路では行きかう車も通行できなく、その間を歩行者が縫い抜けるほどです。小さなお子さんを連れて買い物するお母さんをよく見かけますが心配です。

町会ぐるみで事故防止——山崎繁樹さん（旭町）



私たちの町内会では、町内会ぐるみで❶自家用車は絶対路上に放置しない❷市街地の速度制限を30㌔以とする❸長時間の駐車を避けるため、一刻も早く用事を済ませて車を移動するよう呼びかける❹町内の子供たちは絶対道路で遊ばせないーなどを申し合せ家族ぐるみで交通事故防止に心がけています。

体力づくりが盛んに進められる現在、昔にかえったつもりで歩くことを奨励することも交通安全運動のひとつではないでしょうか。また、中通りの交差点近くの横断歩道が消えているようですが、歩行者の通行区分帯をハッキリ表示してほしい。全面駐禁の規制も巾広い意見を集約するなど住民運動の盛り上がりが必要です。心痛む犠牲者が出ないうちに……。

事故のない町づくり 《わたしの主張》

利用される施設に——細川一由さん（東町）



今年オープンした自転車公園は子供たちにとって絶好の遊び場です。しかし、自転車コースも砂地でなく舗装にしたいものです。また、子供たちの好奇心を満足させる工夫として山あり橋ありといった起伏をつけるなど少々冒険じみたコースにすればもっと子供たちに利用される施設になると思います。

歩行者の安全教育を——千葉勝夫さん（今金幼稚園長）



歩行者の死亡事故が多いことからも今後の交通安全対策は、歩行者が守るべき交通ルールを歩行者自身の生活習慣として身につけるまでの安全教育の充実が必要です。

それには、お母さんたちが交通のきまりを知るとともに子どもがようやく自己の意志において歩行できる時期から徹底した交通安全教育を行うことが大切です。交通事故をなくすためには、運転者と歩行者がそれぞれの立場において交通ルールを守り、互にゆずりあいの心をもつならば事故は起きません。これに伴って交通規制の重要性も忘れてはいけません。市街地の駐車禁止問題も住民運動として互に理解し、安心して子どもや老人が歩けるようにすることが大切であると思います。

親が手本を示そう——能代毅さん（今金小学校長）

学童を事故から守るために、学校と家庭が一貫した教育を行わなければいけない。

危険を避けようとする心は動物の本能である。人間も又然り。更に危険感の養成は安全教育で欠くことのできない基本的要請である。危険を避けて行動する習慣化と、危険に直面した時の安全な行動力を養うことが大切である。

最重点は「生命の尊重」に尽きる。基本的事項を見逃がすことなく、身につくまで徹底してしつけなければならない。これは、今の自分を守ることと、将来運転者となった時にも最大な役割を果すものとなるであろう。

子どもは親の願うように育つものではない。親のように育つと言う。先ず親が子供の手本になるようやってみせよう。

◎事故のない町づくりについて、みなさんの積極的なご意見、要望を広報係までお寄せください。

農業者年金

年金額が大巾に引き上げ
五年加入者で二万六千円に

農業者年金の給付額が引き上げられ、昭和五十二年一月から実施されることになりました。

これは、最近の農業所得の上昇や、厚生年金のような他の年金制度が改正されていることなどの事情に合せて、農業者年金の内容も改善しようとするものです。

改正されたおもな点は、次のとおりです。

▽年金額の引き上げ（経営移譲年金と農業者老齢年金）

年金額を四八%引き上げて、二十八年加入者の経営移譲年金の場合は、月額七万二千八百円（現在は、二十七年加入者で四万七千五百二十円）になります。なお、五十一年一月から給付が始まっている五年加入者は、現行一万七千六百円から二万六千円に増額されます。

▽保険料の改定

給付の増額に伴って、保険料も改められますが、負担を緩和する経過措置として、三年間にわたって段階的に引き上げます。

▽後継者に対する措置

一、保険料の割引

今後の農業経営の中核的担い手となる二十五歳未満の特定後継者の保険料は、一般の三割程度軽減されます。

①五十二年一月から同年十二月までの分は、一月千七百五十円（一般二千四百五十円）。

②五十三年一月から同年十二月までの分は、一月二千五十円（一般二千八百七十円）。

③五十四年一月以後の分は、一月二千三百五十円（一般三千二百九十円）。

二、経営移譲要件の緩和

経営移譲を円滑にし、経営主の若返りを図るため、後継者に対する使用収益権の設定を経営移譲の要件に加えることになりました。

65歳、国民年金の請求はすみましたか

国民年金の老齢年金および通算老齢年金は、六十五歳に達したときから受けられます。

しかし、六十五歳に達したからといって自動的に年金が支払われるのではなく、自分で請求の手続きをしなければなりません。

とくに、明治四十四年八月一日以前に生まれた人で、十年年金、五年年金に加入した人は、本年七月三十日にはすべて、六十五歳に達していますので、今すぐ請求してください。

請求の手続きは、役場福祉課年金係に備えてある「国民年金老齢年金裁定請求書」に年金手帳の記号番号や年金の支払いを受けるための希望する銀行（預金通帳を持参すること）または郵便局名などを記入し、これに年金手帳と印かんを添えて窓口に提出してください。

この手続きを終えると、後日、社会保険庁から「老齢年金証書」が送られてくるほか、三月、六月、九月および十一月に前二か月分の年金が受けられるしくみになっております。

六十五歳の誕生日から、年金はあなたのものです。請求手続きを忘れないようにしましょう。

税の知識

◎物品税のあらまし

「物品税」というのは、一口で言えば、しゃし性、娯楽性、し好性などの高い物品にかかる税金です。

その税率は、物品の種類ごとにそれぞれ定められています。また課税物品は、小売課税の物品と製造場移出課税の物品とに区分されております。

「主な課税物品と税率」

▷第1種の物品（小売課税）
- 宝石、貴金属製品など……15%
- じゅうたん、どん帳……10%

▷第2種の物品（製造場移出課税）
- ゴルフ用品、猟銃……30%
- 普通乗用自動車、家具類…20%
- テレビ、ピアノ、カメラ…15%
- ラジオ、香水……10%
- 化粧水、炭酸飲料、整髪料、コーヒー……5%

「物品税が免除される場合等」

課税対象の物品であっても、一定金額未満の物品には課税しないという免税点の制度や、学校の教育用、社会福祉施設の事業用などに使われる場合には物品税を免除するという特殊用途免税の制度があります。

保健の窓

食中毒の予防



台所、ふきん、包丁などは清潔に

例年、夏季になると細菌による食中毒が多発し、発生件数の六〇%は、八、九月に集中し、昨年本道では昭和二十四年以来最高の食中毒発生件数四百八十二件を記録しました。

食中毒菌は化膿菌などによるブドウ球菌、はえやネズミによって媒介されるサルモネラ菌、海水や魚介類を介しての腸炎ビブリオ、土中や便などに存在するウエルシュ菌というように私たちの生活環境の中に広く分布しています。

そこで、これらの食中毒を防ぐためには、第一に食中毒菌を食品に附着させないことです。

このため食品を調理する時は、原材料や調理器具を十分洗うほか、手指の傷に気を付け、はえやネズミなどが食品を汚染しないよう食品を取扱うことです。

第二に食中毒菌は一般に熱に弱いので加熱することです。

第三に食中毒菌が食品で増殖しないように、調理したあとできるだけ早く食べるか、摂氏五度以下の低温に保管しておくことが大切です。

食中毒菌は目でみることができないばかりでなく、食品中でどんどん増殖しても食品の味も臭いも変らないので、常に、この「清潔」「迅速」「冷却または加熱」の三原則を忘れずに実行し、細菌による食中毒防止に努力いたしましょう。



■保育所児童の後期入所申請を

町では今金保育所と今金小百合保育園の後期（10月1日～3月31日）入所（園）児童の申請を受付します。入所、入園希望者は9月1日から4日（午前9時～午後5時）まで、役場3階研修室にお越しください。　（福祉課福祉係）

■中学校卒業程度認定試験を実施

文部省では、昭和52年3月31日までに満15歳以上になる者で、病弱、虚弱、発育不完全その他やむをえない事由のため、義務教育諸学校に就学することができず、就学を猶予又は免除された者等に対し、次により中学校卒業程度の学力があるかを認定する試験を行います。この認定試験に合格した者は、高等学校の入学資格が与えられます。

▷試験の期日　51年11月11日（木）
▷試験の科目　中学校の国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の各教科について、これらを履修した程度で行われます。
▷願書受付　51年8月16日から9月15日までの間に北海道教育委員会で受け付けます。
▷受験手続き　就学義務の猶予、免除を受けたことを証明する書類のほか願書、履歴書、住民票写真が必要ですので、くわしいことは今金町教育委員会にお問い合わせください。

■鈴岡橋が9月10日まで交通止め

道々鈴岡今金停車場線の鈴岡橋（国道277号線から3.1km地点）が破損したため9月10日まで工事作業上交通止めになっていますので、小倉山方面へ通行される方は丹羽停車場線を回り道してください。

■あなたも応募してみませんか
「私のアイデア貯金箱コンクール」

郵政省では次代を担う児童、生徒に貯蓄の関心を高めさせるとともに、造形的な創造力を伸ばすために貯金箱コンクールの作品を募集します。

▷応募資格　小学生、中学生
▷作品内容　新しく楽しいアイデアが生かされているもの。美しく使いやすいもの。材料は自由大きさは一辺の長20cm程度内。
▷受付　9月10日までに所属学校を通じ最寄りの郵便局に出品。
▷その他詳細は今金郵便局へおたずねください。

■アワビ、ウニの密漁を防ごう

漁業者が苦労して保護している海の財産であるアワビ、ウニの密漁がふえております。とくに悪質な密漁者が遊漁者になりすまし、潜水服（アクアラング）等により密漁しているケースが多くなってきております。

これらアワビ、ウニについては法令により漁業者以外とることはできないことになっております。これから、密漁の多くなる季節になりますので、町民一人ひとりが密漁の防止に積極的にとりくんでいただきたく念願しております。

なお、密漁者を発見した場合は必ず地元警察、海上保安署。町役場、漁業協同組合に通報し、漁業資源の保護のために皆さんのご協力をお願いいたします。
（檜山地区漁業秩序確立推進委員会）

■警察官、交通巡視員の採用試験

昭和52年4月1日採用予定の警察官、婦人警察官及び交通巡視員の採用試験を次のとおり行います。

▷受験資格　高校、大学卒業（3月卒業見込の者を含みます。）
▷願書締切　警察官9月14日、婦人警察官、交通巡視員10月30日
▷1次試験　警察官10月3日、婦人警察官、交通巡視員11月14日
▷応募受付、詳細は最寄りの派出所、警察署に問い合せください。
（北檜山警察署）

家庭教育シリーズ

夏休みを反省して二学期に備えよう

夏休みも終りに近づき、二学期は目の前である。子どもたちは宿題や日記や採集などの仕上げに追いたてられるころである。そこでそろそろ、夏休みの反省とともに二学期を迎えるに当たっての心構えと、注意点を考えてみたい。

◎だらだらした気分を早く切り捨てさせる

一般に生活のバランスをくずして、乱れの目立つものが多い。たとえば〝早寝早起き〟が逆になっていたり、学習計画の面でも、好きなテレビ番組みに歩調を合わせた立て方をしているものが少なくない。これは親たちにも責任があり、夏休みだからという安易な気分からでたもので、生活のケジメを失わせている。

◎二学期の意味について

二学期は生活面において、人間的にいちばん成長するときである。一学期の間にできた友だちや、先生とのつながりを深め、いっそう発展させていくときがこの二学期なのである。

そして、二学期に各種の学校行事が多いのも、気候的によいという理由ばかりでなく、この時期に人間的な幅を広げようというネライがあるからである。それだけに夏休みの延長気分でいると、自分を見失いかねない。

では、二学期を迎えるに当たって、どんな点に心してのぞんだらよいだろうか。例をあげてみると、小学校の低学年、特に一年生は、幼稚園や保育所と違ったきびしい集団生活をひと通り体験してきたわけだから、ここで学校生活を本当に実りあるものにしていくためには、家庭内のしっかりしたシツケが要求される。　（神丘小学校長）

みんなで追放しましょう
恐ろしいシンナー遊び!!

◎シンナーの害毒

シンナーや接着剤をみだりに吸入すると、意識障害を起こし、幻覚を生じ、大胆な粗暴な行動をとり恐ろしい犯罪を犯す結果となります。

また、大量に吸入しますと死亡することがあります。

9月の休日当番医

5日
今金町　岩間医院　☎②0057
12日
北檜山町国保病院　☎④5321
15日
今金町　富田医院　☎②0324
19日
北檜山町国保病院　☎④5321
23日
今金町　国保病院　☎②0221
26日
北檜山町国保病院　☎④5321

道路と川をきれいに

環境の美化に協力しましょう

私たちは日常生活のうえで、道路や川から、はかり知れない多くの恩恵を受けています。

町では、日常生活や地域の発展産業活動の基盤となる道路、河川の整備を重点的に進めていますが、道路と川は私たちの生活のうえでその働きが十分はたされるよう、みんなで大切にしたいものです。



最近では、公共物の愛護と環境美化に関心をもたれる方がたを中心に、積極的な活動が各地で行われ、道路や川も見ちがえるばかりに美しくなっているところもありますが、一般の現状はどうでしょうか。

川などは、みなさんのご協力によって徐々に清流を取りもどし魚が住むなど、私たちの生活にうるおいを与えてくれていますが、市街近郊の小河川の汚れは驚くばかりです。心ない人たちの捨てるゴミが大きな原因となっています。また、道路についても同じようなことがいえます。私たち自からの行いによって、きれいな川や、美しい道路を取りもどさなければなりません。

そこで、八月一日から一か月間「道路と川を守る月間」として、みなさんの身近な道路や川に関心をもってもらい、美しい環境づくりに協力していただくことになりました。

この月間中には、道路・河川愛護組合などで清掃や整備作業を行いますが、みなさんも住宅前の道路や町内を美しくするため、積極的な活動と、〝ゴミ〟などを捨てることのないようお互いに注意しあい、きれいな道路と川を守りましょう。

納期内に納めよう

町道民税《二期》
国民健康保険税《二期》
個人事業税《一期》

八月三十一日まで

住民の動態

前月にくべて

人口	9,558	(+20)
男	4,708	(+7)
女	4,850	(+13)
世帯	2,709	(+10)

(6月30日現在の住民基本台帳人口)

おたんじょうおめでとう

南川 和美（親吾 長女）豊田
山本 琢磨（豊 二男）豊田
伊藤 隆裕（忠雄 長男）商工団
八幡 美子（武美 二女）末広町
福地 忍（邦夫 長女）大和町
新居 晋（利信 長男）鈴金
村田由理香（敏明 二女）種川
大場 雅史（常義 二男）緑町
佐々木和宏（敏治 長男）日の出町
河野 直美（稔 長女）栄町
油家 広光（正人 二男）鈴岡
澤田石則夫（利春 長男）末広町
久保田美生（実 長女）栄町

いつまでもしあわせに

久貝谷正春＝天井 敬子 東町
川合 丈夫＝東海林朝子 八束
栗栖 英明＝影浦美智子 商工団

おくやみもうしあげます

佐々木要次郎 六十九歳 末広町
有賀 文平 八十歳 南町
中森 歌子 三十六歳 南栄町
諸戸 すき 七十四歳 金原
奎岩 四郎 五十八歳 大和町
亀谷久太郎 七十九歳 東町

（六月分）



関取千代桜と滝が里帰り

名古屋場所で惜しくも十両優勝をのがした千代桜と昨年九重部屋に入門した滝序二段（八幡町出身）が北海道巡業の途中八月九日里帰り。滝文彦さんは身長も四㌢伸び体重も百十㌔と大きく成長して元気いっぱい。千代桜関はいよいよ入幕も近く躍進を約束していた。

＝広報＝ トピックス



身障者スポーツ大会で今金優勝

第五回桧山管内身体障害者スポーツ大会が七月十一日北桧山町で開かれ、本町から十一人の選手が参加。卓球やソフトボール投げ、五〇㍍競走に健闘、とくに眼の不自由な伊藤富三さん（栄町）はロープの端をにぎって円周七〇㍍を走る競技で完走（写真）。総合成績で見事総合優勝に輝いた。

発行 北海道今金町役場 編集／企画課広報係 印刷／㈱